

校

医



第 407 号 平成 24 年 6 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

会長 奥村正治

昨年第62回が京都市が当番であった指定都市の学校保健協議会が、さいたま市で開催されました。どんどん増え続ける指定都市の協議会も本年熊本市の参入で、東京都を除いて20都市となった。20年に一度当番が廻って来る勘定になる。どの指定都市もと云うわけではないが、特にこのさいたま市の場合は、いくつかの市の寄り合いで大きい都市となり、指定都市の位置づけになった様である。医師会も4つの医師会が集合し、さいたま市医師会が誕生しているわけではなく、さいたま市発足以前からあった4つの医師会がさいたま市4医師会連絡協議会を作り、今回の学校保健協議会が開催されました。故、さいたま市の学校保健会は、一年ごとに4つの医師会が当番となり、会長職を務めておられる。昨年の会長の岩槻医師会長 峯先生が土台作りを完成され、本年の会長の浦和医師会長 権田先生に受け継がれた様である。我々からみれば、一年ごとの交代で大変だなあと思うわけですが、その様な心配はどこ吹く風の様思った以上に運営はスムーズに進められました。

5月20日(日)の午前中は、全体協議会と記念講演である。全体協議会はあらかじめ用意された話題の協議と云うわけであるが、協議とは名前だけで、いくつかの話題を確認、承認するだけの協議であり、我々参加者にとって重要な話題は、熊本市が20番目の市として指定都市学校保健協議会に参入した事と、来年の開催都市は神戸市と決まりました。この2点です。

次の記念講演は数学者でもある大道芸人のピーター・フランクル氏の話でした。話の内容は、協議会に参加いただいた杉本先生に筆を取っていただいておりますので、私からは、今の日本の小・中学生はやる事(テレビを見る事も含め)が多すぎて、勉強がや

や疎かになっている感じがする。もっと勉強してほしい(見聞も含めて)。という話が耳に残っております。

午後は、課題別協議会です。その前に昼食ですが、ランチョンセミナーの形式で「子供たちの未来のために一きちんと正しい子宮頸癌予防」と題し、自治医科大学附属さいたま医療センター産科婦人科教授の今野良先生のお話でした。医師以外の参加者が多い為、ごく一般的な子宮頸癌の話題とワクチンの話題でした。

4つの課題別協議会は、第1分科会(健康教育)、第2分科会(保健管理)、第3分科会(心の健康)、第4分科会(地域保健)の話題で、3時間半ほどの分科会が開かれました。参加者に筆を取っていただいておりますので、具体的な点はそちらの方に譲ります。

第63回の協議会に先立ち、前日の5月19日(土)の午後4時30分より、学校医だけの合同研修会が開催された。合同というのは、学校医は内科系と眼科、耳鼻咽喉科の三科ある為、合同という文字が使用されております。今回の研修会は、独立行政法人 国立成育医療研究センターこころの診療部部長 奥山真紀子先生の「大震災とこどもの心」と題して講演が行われました。

今回の大震災と津波の重なった1回の強い恐怖体験ではI型のトラウマとなり喪失の体験を重ね、死の理解へと子供達の心はゆれ動いてゆく、そこに今回は原発の問題も重なり、慢性のストレスが余分に加わり、環境の変化に子供達は対応して行かなくてはならない。被災後の心のケアに学校医・家庭医・小児科医の役割が重要である事、そして子供達への支援者(教師・保育士・保健師など)のメンタルヘル

スも平行して行われる必要があるとのお話しでした。

今回、おみやげに「さいたま市立学校児童生徒事故等危機管理対応マニュアル作成指針」という小冊子をいただいた。何でも標準化する事は良いとは思

わないが、京都市教育委員会にもこの様なものがあるのだろうか？ と思いながら帰りの列車のなかでパラパラ見ているといつの間にか眠りに入っていました。

第63回指定都市学校保健協議会 記念講演に参加して

常任理事 杉本英造

演題：「21世紀に羽ばたくための学習法」

講師：数学者・大道芸人 ピーター・フランクル氏
ハンガリー出身で、1971年国際数学オリンピック金メダル受賞。サーカス芸人国家試験合格。亡命後フランス国籍取得。12ヶ国語を話し、90ヶ国を訪問。1988年から日本に在住し、47都道府県すべてを回り講演活動と路上大道芸を披露しておられます。

棍棒を使った大道芸からスタートし、ホワイトボードに数学問題を出題し聴衆をドッキリ。自身の経歴を話された後、現代社会はコミュニケーションの手段が、会話からメール主体の文章化されたものになっていることと、母国語（日本語）が崩壊しないようにすること、何を伝えたいのか内容を重視することなどを警鐘されました。

人件費削減・リストラ社会に対し、これからの子供たちは、ジェネラリストより専門性の高い能力を

身につけると共に、新しいタイプの産業を創設する必要性を説かれました。ハワイ旅行時、飛行機で忘れ物をしたので航空会社に電話したらコールセンターはマニラのため、現地の状況と解離し苦勞されたことを話され、人件費削減の1例として挙げられました。テレビの害についても話され、ご自宅は子供（小・中学生）の反対に会いながらテレビを撤去し、テレビを見る時間を他に回すようにしているとのこと。日本では休日が増えると学校のクラブ活動の日が増えるだけで家族とのふれ合いや文化にふれる時間が増えるのでないことを憂いておられました。（この点は、地域・家庭事情により意見が異なると思います…）1時間で大道芸パフォーマンス、数学、講演と多彩な内容でしたが、演題の「学習法」については、やや物足りない印象を受けました。

第63回指定都市学校保健協議会 第1分科会に出席して

今熊野小学校 長村吉朗

5月20日にさいたま市で開催されました第63回指定都市学校保健協議会の第1分科会の概要を報告いたします。

1. 自尊感情を高め、生き方を考える「いのちの学習」
市立札幌大通高等学校 養護教諭 渡邊 千鶴
2. 学校歯科保健実践活動推進校における歯肉炎予防へのアプローチ
相模原市立相原小学校 学校歯科医 八木 忠幸
3. 小・中学校及び地域の連携を生かした健康教育
浜松市立曳馬中学校 養護教諭 松島 葉子
4. ”今”を大切にし かかわり合って高まる子
～心が元気 体が元気～
広島市立深川小学校 校長 川手 香苗
5. さいたま市における生活習慣病予防学校検診
さいたま市立病院 小児科医師 工藤 京子

6. 生活習慣病予防学校検診における栄養指導

さいたま市立土呂中学校 学校栄養職員 小野 典子
1題目は、平成20年に開校した午前・午後・夜間の三部娯・単位制の定時制高校での取り組みに関する報告で、不登校や発達障がいのある生徒が多く在籍する特殊性の中での取り組みであり今後京都においても同様の取り組みが必要になるのではないかと考えさせられました。2題目は口腔内写真を用いた歯肉炎予防の取り組みで、実践校での取り組みとは言え熱意が感じられました。3・4題目は学校保健委員会の試みなどの報告でした。5題目では35%以上の肥満度の場合腹圍/身長比の基準が0.5となる報告で、6題目はその子ども達に対する栄養指導の報告でした。

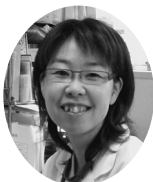
〔第2, 3, 4分科会の報告は次号に掲載いたします。〕

新任校医挨拶



小石 まゆみ
(京都御池中学校)

平成24年4月より京都御池中学校の校医をさせていただきます、小石まゆみと申します。平成8年より中京区で、義母のあとを継ぎ、産婦人科で開業しております。この春から息子がお世話になる中学校の校医をさせて頂くのも、何かのご縁と意気込んでおります。至らぬ点多々あるかと思いますが、子供達の健やかな成長の助けになれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



藤田 寧子
(大原小学校)
(大原中学校)

この度、平成24年4月から定年となりました父 藤田 宗の後を引き継いで大原学園の校医をさせていただくことになりました。

初めての経験であり、小児科は専門ではないため緊張しておりますが、少しでも学校と地域の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。

先輩の諸先生方並びに学校関係者の方々には、今後何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



矢間 博善
(嵯峨中学校)

平成22年1月1日より、義父であります酒井晃が管理者を務めておりました嵯峨の「酒井診療所」を新たに「矢間酒井診療所」と名称変更し、管理者として継承致しました矢間博善と申します。昭和62年に京都府立医科大学を卒業いたしました。

当初より義父と2人で診療にあたっておりましたが、わけあって義父が半ば引退状態となりましたゆえ昨年6月より1人で診療しております。その義父が嵯峨中学校の校医を長年務めておりましたためか、このたび僭越ながら小職に嵯峨中学校の校医のお声がかかり、右も左もわからぬ新参者ですが、少しでも地域のお役にたてるのなら、と引き受けさせて頂

きました。

開業医となる前は13年余りにわたりパナソニックで産業医をしていましたので、その経験が少しでも役立てば幸いかな?と甘いことを考えております。

開業医としても校医としてもまだまだ全くのド素人ですので、皆様のご指導ならびにご鞭撻を頂ければ幸甚です。今後とも末永く宜しくお願い申し上げます。



紀田 貢
(音羽小学校)

平成24年4月より、ご縁がありまして音羽小学校の校医をさせて頂くことになりました、紀田貢と申します。昭和56年に京都大学医学部を卒業、静岡県立総合病院、社会保険小倉記念病院、洛和会音羽病院を経て、平成15年1月より山科区で紀田クリニックを新規開業し今年で10年目になります。前任の中川竹彦先生にご指導頂き、養護教諭の先生と円滑に連携しながら、微力ではありますが、校医の務めを果たしていこうと思っております。今後とも諸先輩方のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



神谷 康隆
(洛水中学校)

平成24年4月より洛水中学校の校医に就任致しました。私は平成10年より伏見区淀の金井病院で小児科をしております。ここは洛水中学校の校区で顔見知りの生徒が多く居ます。これまでの経験を生かし、学校保健のお役に立てることが出来ること大変うれしく思っています。微力ではありますが子供たちの健康の助けとなるよう更に頑張っていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

後藤 幸勝 (静原小学校)

幡枝で開業して、今年で24年目になります。母校府立医大小児外科で学位授与を受けている身としては、少しは恩返しもせねばと感じ、小学校の校医を引継ぎました。

多数の先生方との面識を得る機会であると共に、新たな分野の知識を得る機会でもあると考えています。今後共、よろしくお願い致します。



山内 宏 哲
(小栗栖中学校)

このたび小栗栖中学校の校医をさせて頂きたくこととなりました山内宏哲と申します。

平成5年に大阪医科大学を卒業、平成23年12月に小栗栖で開業したばかりですが、すぐ近くの中学校の校医を拝命し身の引き締まる思いです。

この5月からさっそく健康診断が始まり、学校医の手引きを見ながら所見の見逃しがないようになんとかこなしていった状況です。

今後、教職員の皆様方とコミュニケーションをとりながら少しでも学校保健、地域医療に貢献できましよう努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

落 合 淳 (向島東中学校)

平成24年4月より向島東中学校の校医を務めさせて頂きたくこととなりました。

校医をお受けしたのが3月末と遅かったために、それから本年度の集団検診やMRワクチン接種の予定が慌ただしく決まり、早速4月中旬に集団検診をさせて頂きました。検診は保健室で行われますが、今まで保健室に長時間いる経験がなかったため見るものすべてが新鮮でした。その中でメンタル・ヘルスの書籍が並んでおり、時代を感じました。

本来の校医の業務はもとより、加えて最近の中学生はどんなことを考え、どう生きようとしているのかを私自身も学ぶ機会にしたいと思っております。

微力ではございますが、京都市学校医会の皆様方の御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第2回 常任理事会

平成24年6月2日
於 事務局

出席者 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、杉本常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 第63回 指定都市学校保健協議会 5/19~20 さいたま市
2. 京都市学校保健会 第1回常務委員会 5/29 於：体育健康教育室会議室
3. 心臓相談 5/30 2名 水中心電図
4. 平成24年度 京都府予防接種研修会の協賛 10/18
5. その他

<協議事項>

1. ツベルクリン反応検査出務医について：出務医決定
 2. 市教委との懇談会での協議事項について 6/30
 3. 校園長会との懇談会での協議事項について 7/14
 4. 養護教育研究会との懇談会での協議事項について 7/21
- } 協議事項の調整

5. 全理事会について 8/4 17:30~予定
6. 会誌について
7. 第34回 近畿学校保健連絡協議会について (和歌山) 7/26
8. その他

<関連学会・各種協議>

1. 第29回 京都府歯科保健文化賞 6/3 於：京都府歯科医師会館
2. 三師会 6/9 於：柊家
3. 京都市学校保健会理事会・評議員会 6/12 於：新都ホテル 14:00~
4. 京都市学校保健会新旧会長歓送迎会 6/12 於：新都ホテル 17:20~
5. 色覚相談 6/12, 6/19
6. 精神衛生研究会 6/14
7. ツベルクリン反応検査 接種6/18, 判定6/20 から7会場
8. ワンポイント相談 6/28
9. 教育委員会との懇談会 6/30 於：ひろや
10. 腎臓相談 7/3
11. 心臓相談 (水中心電図) 7/4
12. 第3回常任理事会 7/7
13. 南支部会 7/7
14. その他